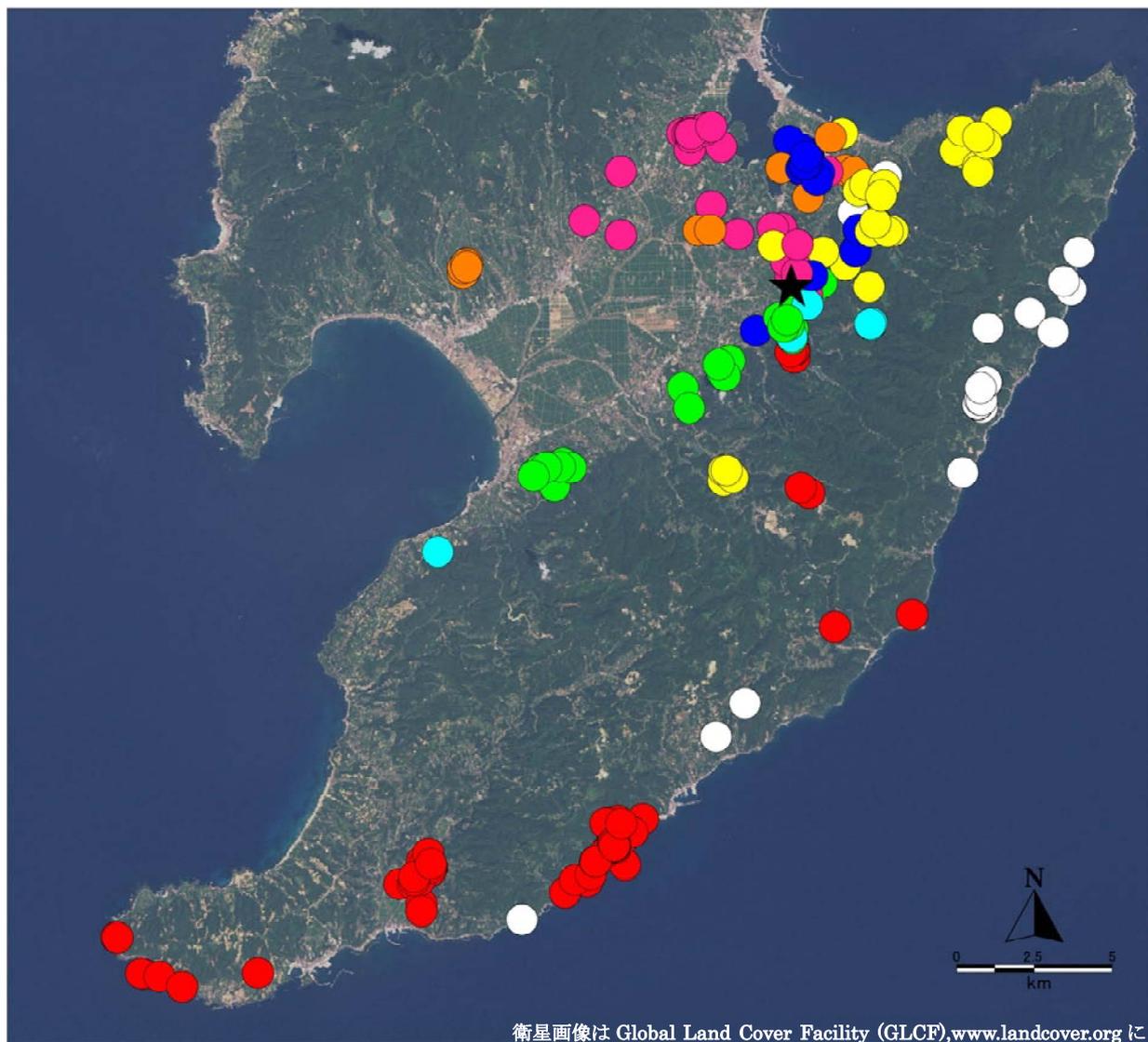


**別紙2** 放鳥されたトキの主な確認地点  
 (10月24日までに目視観察された地点及びGPS送信器による位置情報)



★ 放鳥場所

凡 例				
個体番号	性別	年齢	GPS送信器	
01	♂	3才	バッテリー	GPS
04	♀	3才	ソーラー	GPS
06	♂	2才	ソーラー	GPS
07	♀	2才	非装着	
09	♂	2才	ソーラー	GPS
11	♂	2才	バッテリー	GPS
13	♀	1才	非装着	
15	♀	1才	非装着	

(参考) 個体の識別とGPS送信器による位置の把握

1. 個体の識別

放鳥されたトキは、各個体の足に固有の金属足環、番号リング、カラーリングが装着され、個体識別を容易にするため羽根の内側および外側の一部が着色されている。

個体の識別は、番号の確認によるほか、カラーリング、羽根に着色された色の組合せ、送信器の有無の確認を複数照合して行っている。

2. GPS送信器による個体位置の把握

放鳥されたトキ10羽のうち、オス5羽、メス1羽に2タイプ(ソーラー型4台、バッテリー型2台)を装着しており、ソーラー型については3日に1回、バッテリー型については10日に1回、人工衛星経由で位置データが送られることになっている。

ただし、放鳥後の実績では、通信環境や充電状況(ソーラー型の場合)によって、位置データが取得できない場合も多い。